

臨床事例や診療報酬改定を通じて考える
選ばれる歯科技工士としての技術とコミュニケーション

佐野隆一

2015年11月号の『日本歯技』にて、「選ばれる歯科技工士としての価値と戦略」というテーマで、来たるデジタル化に対して私たち歯科技工士はどう対応するか、人にしかできないことは何か、ということを執筆させていただきました。

そこから10年が経とうとしている2025年の今、デジタル化は進みつつも歯科技工士は減少傾向にあり、その重要性はますます高まっています。しかし、人口減少という中でさらなる効率化や生産性、グローバル化の流れを考えると、これまでとは違う変化、思いもよらない淘汰が起きる可能性もあります。これはどの業種でも同じです。やはり、人にしかできないことは重要である、というのは今後も変わらないでしょう。

では、私自身はどのように対応しているのか、というのが今回のテーマになります。本講演を通じて、「選ばれる歯科技工士」とはどういうことか、そのために必要なことは何かを一緒に考えていければ幸いです。